



市内の気になる話題をご紹介します。

2/16・17 東海四県のスポーツ推進委員 約 2,300 人が下呂市に集結

「第65回東海四県スポーツ推進委員研究大会」が、下呂市で開催されました。スポーツ推進委員とは、住民に対しスポーツの普及活動や指導などを行ってくれる人で、下呂市には19人います。本大会は2日にわたり催され、1日目には、下呂市出身で世界的に活躍している義足のプロダンサー大前光市さんの講演会がありました。(表紙記事)



開会式で一堂に会す、愛知、岐阜、三重、静岡のスポーツ推進委員=森、下呂交流会館

3/3 木材を五感で親しみ、森を大切に する気持ちを育む

市内外の人たちに森林の大切さを知ってもらう取り組み「森と人の物語推進プロジェクト」によるワークショップが催されました。

ワークショップは、木材を削ったり磨いたりして木材の手触りや香りを体感しながら、森と人との「かわり」を学びます。今回は、市内の子どもと保護者ら約20人が参加。名古屋市でも同様に、下流域の人を対象に行われています。



NPO法人森のなりわい研究所と名城大学、下呂市によるワークショップで、講師からの説明を受けて木材に触れながら楽しく学ぶ参加者=萩原町四美、南ひだ健康道場

3/2 医療の現場へ旅立ちの日 下呂看護専門学校で卒業式

県立下呂看護専門学校で第32回卒業式が行われ、先生や家族、在校生が見守る中、卒業生21人に卒業証書が授与されました。

卒業生はお世話になった方々へ感謝の気持ちを込めて合唱を披露。仲間と助け合い励んできた3年間の思いを胸に、学校生活で習得した看護に必要な知識や技術を生かすため、新たな道へと進んでいきました。



校長先生から一人ずつ卒業証書を受け取る卒業生=幸田、県立下呂看護専門学校

3/4 最後の思い出づくりに 「ありがとう上原保育園」開催

昨年度で半世紀の歴史に幕を閉じた上原保育園へ、感謝の気持ちを込めて「ありがとう上原保育園」が催されました。園児や職員、地元住民ら約130人が参加し「アリガトウ」の人文字を作ったり、メッセージ付きの風船を飛ばしたりして、最後の別れを告げました。4月からは「かみはら子育て・保育ステーション」として、未満児保育のほか乳幼児家庭の支援を担う施設になりました。



さまざまな思いのメッセージを付けた風船を飛ばす参加者=門和佐、上原保育園